

ねらい ・ 2位数×1位数(部分積がみな1桁)の仕方について理解し、その計算方法を考えることができる。

身に付けさせたいこと

- ・ 十の位と一の位で分けて計算すること(サクランボ計算)を身につける。
・ 比較検討し計算の仕方をまとめる。

表れてほしい児童の意識(姿)

- ・ 位ごとに分けてたりコインで計算をしたり、考えいたりしている。
・ 比較検討をして、位ごとに分けて計算している。

問題

1本32円のえんぴつ、3本買います。代金はいくらですか？

めあて 32×3の答えはどんな考え方を使えばいいだろうか。

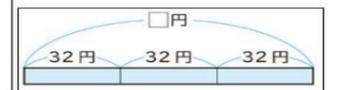
自分の考え

たし算でもとめる
32 + 32 + 32 = 96

言葉の式

1本分のねだん × 買った本数 = 代金
だから 32 × 3 = 96

テープ図で考えると

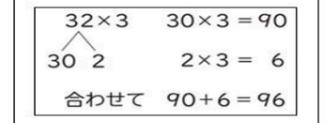


10円玉と1円玉で考える。



まず、32の2を隠して、3×3で9、次に2×3で6、合わせて96
3 × 3 = 9
→ 32 × 3 = 96

分けて考える



・ どの考えも、30と2に分けて計算している。

まとめ

・ 32×3の計算は、10の位と1の位に分けて計算して、それぞれを足せば。

授業の流れ

○主な発問

☆指導及び支援

・予想される児童の反応

□評価

1 学習課題を把握する 8分

○昨日のまとめの確認と問題

○問題を読んで考えてください。

問題

1本32円のえんぴつ、3本買います。代金はいくらですか？

○めあてを考えましょう。

めあて

・ 32×3の答えはどんな考え方を使えばいいだろうか。

○式を立てましょう。

32 × 3 =

- ☆既習事項の振り返りを行う。
☆時間をかけずめあてを考える。
☆前時の20や300と何が違うか考える。
☆問題を理解できない児童がいる場合は、32円を30円に置き換えて考え段階を踏めるよう支援する。

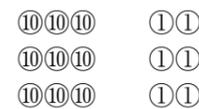
2 個別に課題を追究する 7分

○各自で問題を解きましょう。

○予想される児童の考え

① 32 + 32 + 32 = 96

② 10円玉と1円玉で考える。



②-1 30 × 3 + 2 × 3 = 90 + 6 = 96

②-2 10円玉が全部で9枚、1円玉が全部で6枚だから、96円

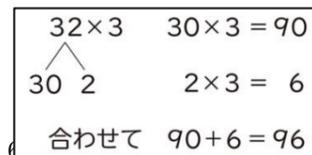
③ (サクランボ計算) →

④ まず32の2を隠して、

3 × 3 = 9

次に、2 × 3 = 6

それぞれを合わせて、96



⑤ 言葉の式 (1本分の値段 × 買った本数 = 代金)

⑥ テープ図

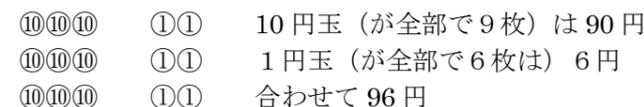
- ☆式の意味を確認する。
☆筆算の形で考えないように仕方ではなく、考え方を考えるように支援する。
☆考えが思いつかない児童には、32を30と見て考えるように支援する。

3 考えを発表し、全体で比較・検討する 20分

○グループで話し合い、考えをまとめ発表しましょう。

※ 32円が3つだから、32+32+32をすればいい。だから96

※ お金で考えると、

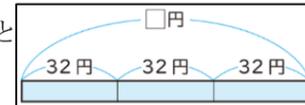


※ 32を30と2に分けると、30×3=90と2×3=6になるから合わせて、96

※ まず、32の2を隠して、3×3で9、次に2×3で6、合わせて96

32 × 3 = 9、 → 32 × 3 = 96

※ テープ図で考えると



- ☆間違った考えに対し、どう変えれば正しく求められるのか考えるよう促し、説明を求める。
☆ 同じ考え方があれば挙手を促す。必要に応じて、他の人が再度説明するように求める。
□ 数の構成に着目し、2位数×1位数の計算の仕方を、既習の乗法を用いて考え、説明している。(思考・判断・表現)

4 学習のまとめをし、振り返りをする 10分

○共通点はどこかな？

・ どの考え方も、32を分けて考えている。

→ 位ごとにわけている。

○ 学習のまとめをみんなで考えよう。どうしたら、32×3は簡単にできた？

まとめ

・ 32×3の計算は、10の位と1の位に分けて計算して、それぞれを足せばいい。

・ 32の2を隠して、3×3で9、次に2×3で6、合わせて96になる。

・ 10のまとまりで考えると計算しやすい。

○ 振り返りをしましょう。今回は、今日の発表でなるほどと思ったのはどんな考えでしたか？

・ Aさんのサクランボ計算はいいと思いました。

・ かくして計算もできるのは、びっくりした。

☆ 書けた児童に発表してもらおう。

☆ 書けない児童には、どの考え方やどんな考え方が大切だったのか問いかけ、支援する。

○ 練習問題をしましょう。

- ☆ 話し合いに時間を取った場合は、行わない。
☆ 机間巡視し、簡単にできない児童には個別指導を行う。